

2013 年度 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	戦略経営研究科	身分	教授
氏名	久保田 敬一		
NAME	KEIICHI KUBOTA		

1. 研究課題

(和文) 日本企業の CSP 活動, 企業内外情報非対称性の解決についての研究: 同族企業を中心として

(英文) CSP Activities and Resolution of Information Asymmetry by Japanese Firms: With focus on Family Firms

2. 研究期間

1 年半

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度)

(和文)

本特定課題研究では、平成 24 年度に終了した久保田が研究代表者であった科研費補助金 (平成 21-24 年度、基盤 (A) 一般) (研究課題名: 「同族企業の質、効率性、ガバナンス」) を通じて、4 年間で構築をした東証全上場企業のデータベース (同族企業および非同族企業) からの観察に基づき、表記の課題の発展研究を行った。

第 1 の研究として、会計情報、CSP と企業価値についての実証研究を発展させた。その成果は 2013 年 5 月の European Accounting Association Annual Meeting, 同 8 月の American Accounting Association Annual Meeting で発表した。これをさらに発展させた論文は、2014 年の AAA 年次大会において共著者が発表した。また、企業価値と税の関係については、2014 年 10 月の International Atlantic Economic Association 大会で発表した。

第 2 の研究は、当初の共同研究者シカゴ大 Harris 教授に加えて、京都大学小佐野教授も新たに参加し、現在同族企業の後継者選択問題に契約理論の応用モデルを開発中であり、中大海外拠点のハワイ大学協力の国際会議でモデルの概要を発表した。

第 3 の研究は、現在研究継続中のものもあるが、一論文は Japan and the World Economy に採択済みであり (article in press)、上場同族企業の情報の非対称性がより高いこと、また資本コストはレバレッジの使用が低いことからより高いこと、そしてそれと情報の非対称性との関連性などを明らかにした。

(英文)

We proceeded with three research agendas. One is on the assessment of CSP by Japanese firms, and the results were presented at two consecutive AAA meetings in concurrent sessions. Second is the application of contract theory to the choice of next generation CEO for the owner firms, and the model development is under progress. Third is the study of listed family firms in Japan and we found the information asymmetry and the cost of capital are higher for family firms than for non-family firms.

4. おもな発表論文等 (予定を含む)

【学術論文】 (著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月)
1. Ebihara, T., K. Kubota, H. Takehara, E. Yokota, "Market Liquidity, Private Information, and the Cost of Capital," <i>Japan and the World Economy</i> , 査読有(2014), Vol. 34, November (article in press)
2. 久保田敬一、竹原均「会計保守主義と投資家のリスク認識」、『武蔵大学論集』 査読無、62巻1・2号、2015年1月刊予定 (初校校正中)
【学会発表】 (発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月)
1. Gu, Z, K. Kubota, H. Takehara, "An Examination of the Relationship between Earnings Quality and Corporate Social Performance, AAA Meeting, Anaheim, 2013年8月
2. Kubota, K, H. Takehara, "Effects of a sales tax increase on firm valuation in Japan," International Atlantic Economic Association, Savannah, 2014年10月
【図 書】 (著者名、出版社名、書名、刊行年)
1. 久保田他共訳 (バークディマーズ著) 丸善出版、コーポレートファイナンス：入門編 201 3 ⁴ 年3月、全661頁
2. 久保田他共訳 (バークディマーズ著) 丸善出版、コーポレートファイナンス：応用編 201 3 ⁴ 年3月、全769頁
【その他】 (知的財産権、ニュースリリース等)
祝迫、久保田、大垣、筒井 シンポジウム 「2013年ノーベル経済学賞、 ファーマ、ハンセン、シラー教授の資産価格の実証分析への貢献」 2013年12月、日本ファイナンス学会主催 (『経済セミナー』2014年2、3号所収)